身体の仕組み

人間の呼吸により取り入れられた酸素は肺で血液に巡り合い全身の細胞に届けられ体が機能しています。

人間のエネルギー源である食べ物や水分は消化器官で栄養分になり、毛細血管やリンパ管など血液を通って全身に運ばれてい ます。生命維持に欠かせない酸素や栄養分は心臓をポンプ役にした運搬役の血液で全身の細胞に運ばれています。

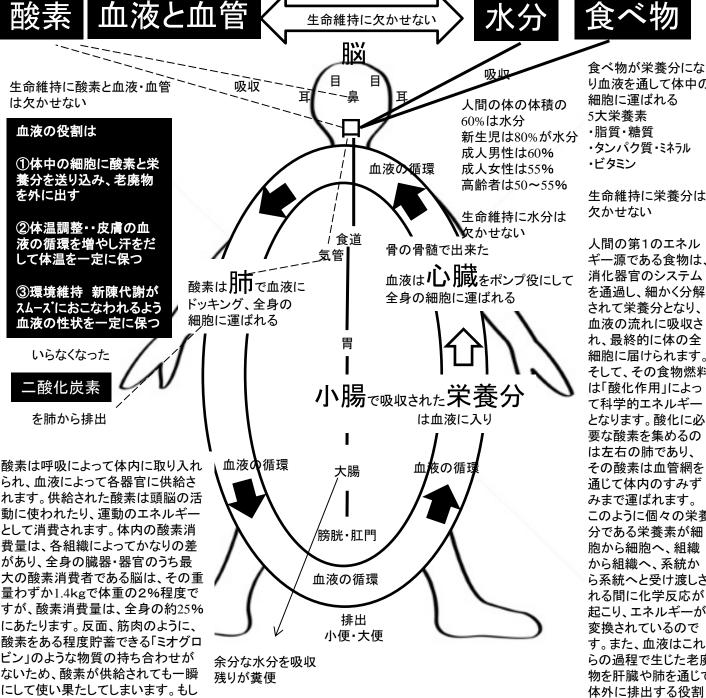
どれ一つ欠けても生命は成り立たないことを考えると、50年も60年も一日として休むことなく動き続けている人間の体は奇跡といえ るほどうまくできている・・・と思うと同時に不思議でなりません。誰がこのような仕組みをつくったのか? 地球上のすべての人、AさんもBさんも、欧州人もアジア人も皆、同じ仕組みで生きているのですから・・・

1

心臓停止などで血液が止まれば、脳

の機能もその瞬間に止まり、意識不

明で仮死状態に陥ります。



食べ物が栄養分にな り血液を通して体中の 細胞に運ばれる 5大栄養素 脂質・糖質

- ・タンパク質・ミネラル
- 生命維持に栄養分は

人間の第1のエネル ギー源である食物は、 消化器官のシステム を通過し、細かく分解 されて栄養分となり、 血液の流れに吸収さ れ、最終的に体の全 細胞に届けられます。 そして、その食物燃料 は「酸化作用」によっ て科学的エネルギー となります。酸化に必 要な酸素を集めるの は左右の肺であり、 その酸素は血管網を 通じて体内のすみず みまで運ばれます。 このように個々の栄養 分である栄養素が細 胞から細胞へ、組織 から組織へ、系統か ら系統へと受け渡しさ れる間に化学反応が 起こり、エネルギーが 変換されているので す。また、血液はこれ らの過程で生じた老廃 物を肝臓や肺を通じて

も担っています。